

Creative Native

AOI Pro.

第51期 第2四半期報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

まず、株主の皆様にお伝えしたい嬉しいニュースがあります。今年で53回目となる日本最大の広告祭「ACC CM FESTIVAL」において、当社が制作に携わった作品がテレビCM部門とマーケティング・エフェクティブネス部門の2部門で総務大臣賞・グランプリを受賞しました。当社が満50歳を迎えた年に、この賞をダブル受賞できたのは、大変喜ばしいことであります。売上高という数字面だけでなく、私どもが最も大事にし、コーポレートタグラインにも入れている「Creative」の面でも確実に向上していることを改めて実感できました。

さて、当第2四半期のグループ業績につきましては、売上高は大幅に増加した前年同期の売上高を上回ることができました。一方利益面では、先行的費用等の支出もあり前年同期に届きませんでした。足元の状況を踏まえれば、通期では年度初めに発表しました業績予想のとおり、売上高・利益ともに過去最高を更新できるものと考えています。

日本で地上波テレビ放送が開始されて60年ですから、広告

制作業界で50年経っている会社は数社しかありません。しかしながら、あるデータによれば、企業が50周年を迎えられる確率はわずかに0.7%、その中でもさらにあと50年存続できるのは20社に1社程度しかありません。変化のスピードがますます速くなっているこの世界で、当社グループが業界のリーディングカンパニーとして次の50年でも成長し続けるためには、現状に満足することなく、常に新しいものにチャレンジしていかねばなりません。

株主の皆様には、今後とも一層の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

藤原 次考

企業ステートメント

ひとりひとりがそれぞれの立場や役割の **Professional** として
最高のクリエイティビティを発揮させ、さまざまな **Produce** を行う。
そこから生み出された **Product** を社会やステークホルダーの **Profit** につなげる。
それが私たちの **Promise** です。

Creative Native
AOI Pro.

Q.当第2四半期の業績について 売上高は大幅増の前年同四半期を 上回るも、利益面では微減。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済対策や金融政策等による円安・株高を背景に、国内生産・海外輸出の回復への期待が高まり、消費者マインドや企業マインドに改善が見られることから、穏やかな回復基調となりました。

このような状況のもとで、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高131億8千3百万円（前年同四半期比103.7%）、営業利益7億7千3百万円（前年同四半期比96.3%）、経常利益7億2千2百万円（前年同四半期比93.7%）、四半期純利益2億7千3百万円（前年同四半期比96.3%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 広告制作事業

わが国経済の動きを反映し、広告需要も改善傾向にあることに加え、グループ全社を挙げた営業体制強化、中期経営計画に基づくデジタル部門の強化やアジアを中心とするグローバル展開等新たな取り組みとの相乗効果等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は124億6千5百万円（前年同四半期比103.9%）となりました。

一方、セグメント利益は、前連結会計年度に上昇した

当社の制作原価率は低下傾向にあるものの、前年同四半期比では事業規模拡大に対応した人員増や新たな取組みに伴う先行的費用等の支出増もあり、8億9千3百万円（前年同四半期比96.3%）となりました。

② 写真スタジオ事業

2010年6月、当社グループがこれまで培ってきた映像制作ノウハウを広く一般消費者にも体験していただくことで当社グループのブランド認知度向上を図るため、当社連結子会社の(株)ホリーホックにて、コンシューマ向け写真館運営事業及び全国の写真館に対する販売促進支援を行う「写真スタジオ事業」を開始することを決定し、2010年9月、東京ミッドタウンに「写真スタジオhollyhock」第一号店を、2012年5月には自由が丘に第二号店をオープンさせました。当第2四半期連結累計期間の売上高は、BtoC事業である店舗売上は増加傾向にあるものの、BtoB事業である写真館に対する販売促進支援事業の売上減少により、2千8百万円（前年同四半期比98.7%）となりました。

一方、粗利率の高い店舗売上の増加等により、セグメント損失は1千3百万円（前年同四半期は、セグメント損失2千万円）と減少しました。今後、七五三記念撮影需要等を確実に取り込んでいくことで、売上の増強を図ってまいります。

③ メディア関連事業

2011年4月ゴルフに係る出版・広告・オンライン事業を行う(株)パーゴルフ(現株Pargolf & Company)を子会社化し、当社グループとして初めて「メディア」を保有することになりました。本年6月には、新オンラインサービス「ParOn」をスタートさせ、ゴルフ場予約サイトを運営する楽天(株)との業務提携、「Yahoo!JAPAN」のニュースサイトへのニュース配信等を行うとともに、「週刊パーゴルフ」を「Weekly Pargolf」として全面刷新し、雑誌メディアとオンラインメディアを連動させた新たな情報プラットフォームを構築しております。

こうした取組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億8千8百万円(前年同四半期比100.5%)、セグメント損失は1億3千8百万円(前年同四半期は、セグメント損失1億3千6百万円)となりました。今後も「Weekly Pargolf」の持つブランド力と編集力に、当社

グループが持つデジタル映像制作技術、エンタテインメントコンテンツ制作ノウハウと創造力を加えた、ゴルフ総合サービスを提供してまいります。

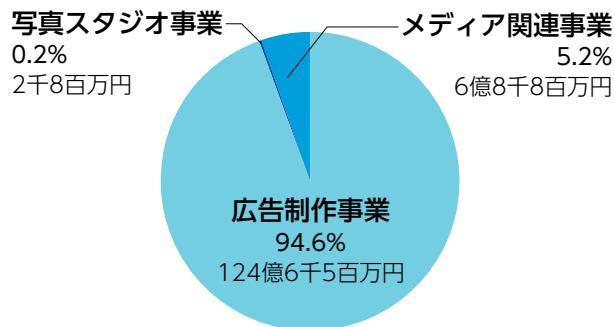
なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。また、記載金額には消費税等は含まれておりません。

Q.通期の業績について

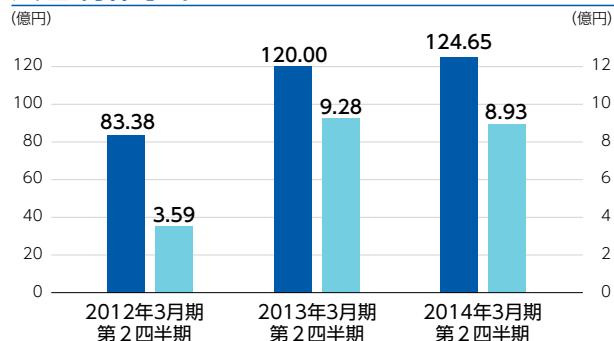
**連結業績・個別業績ともに、
年度初めの増収増益の業績予想どおり。**

2014年3月期第2四半期の業績は前述のとおりであります。わが国経済は回復力を強めており、足元の堅調な受注動向や制作原価率の低下傾向等を踏まえ、連結業績・個別業績ともに、年度初めに発表いたしました前期比増収増益の業績予想に修正はありません。

セグメント別売上高構成比



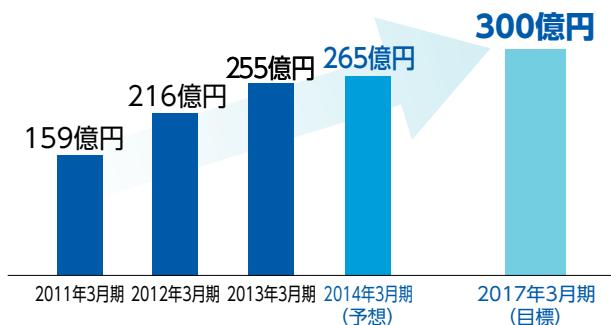
広告制作事業



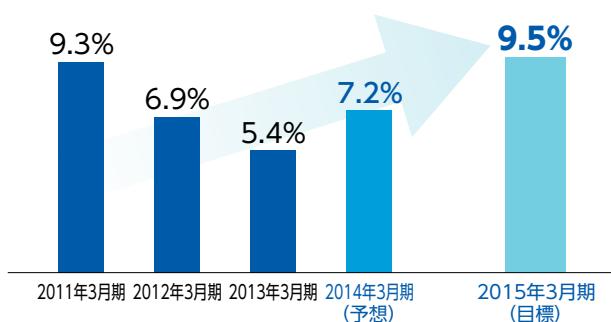
通期(2014年3月期)の連結業績予想

	連結	前期比
売上高	265億円	3.6%増
営業利益	19億円	37.5%増
経常利益	18億5千万円	33.8%増
当期純利益	7億5千万円	141.5%増

連結売上高



連結営業利益率



Q.中期経営計画の進捗状況について

中期経営計画の着実な取組みにより足元業績は堅調、経営目標の達成に向けた取組みをより一層強化。

足元の堅調な業績は、AOI Pro.のDNAを象徴する「AOISM」がグループ社員一人ひとりに浸透したことや、中期経営計画に基づく着実な取組みの成果の現れと考えております。

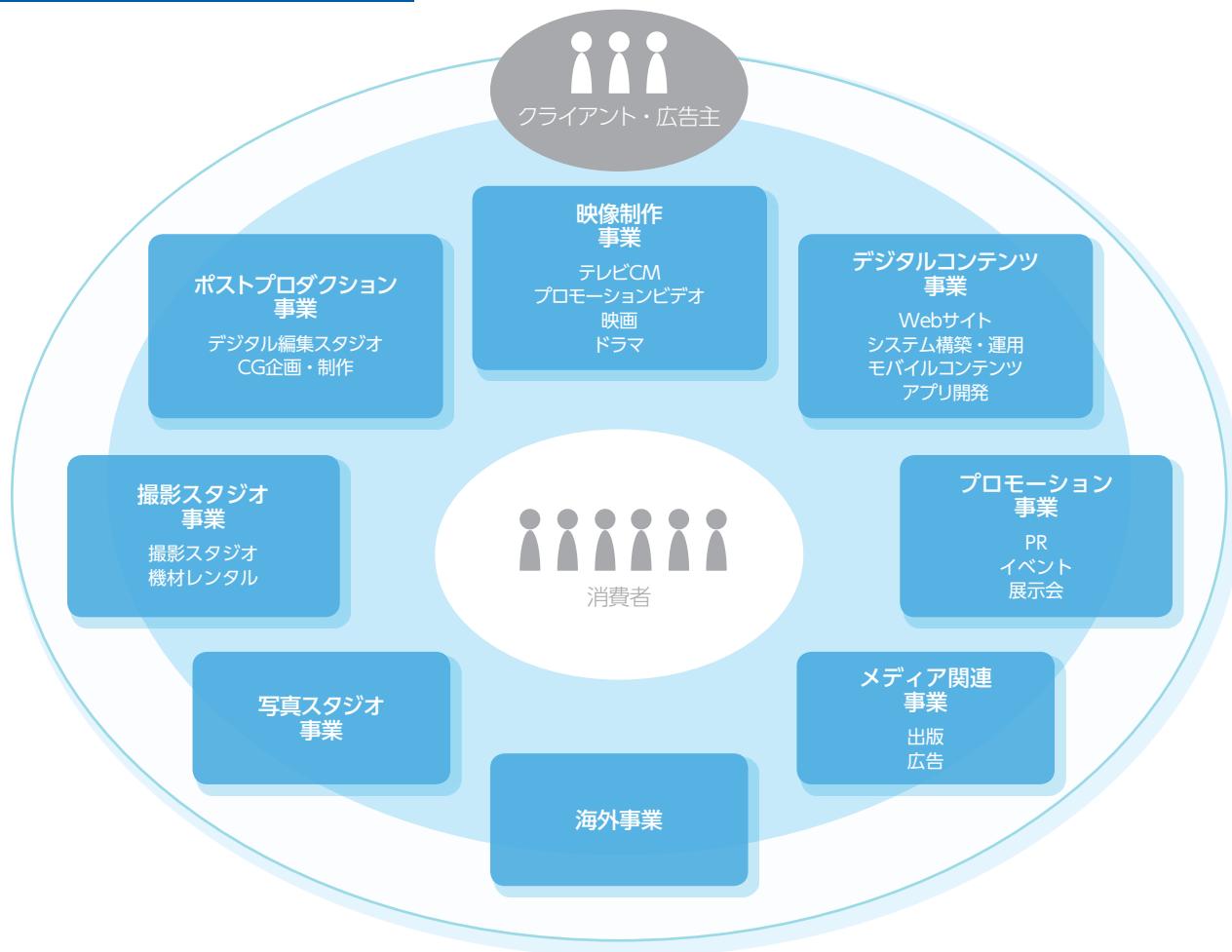
具体的には、中期経営計画で掲げた6つのキーワードのうち、「テクノロジー」「コミュニケーションデザイン」に関しては、グループ会社の(株)ビジネス・アーキテクツを中心とするデジタル部門の再編により、プロデュース力の強化及び制作体制の効率化において成果が現れつつあります。

また、「グローバル」に関しては、海外戦略「AOI ASIA PROJECT」に基づき本年4月には北京にも拠点を置き、ネットワークの充実を図っております。

こうした新たな取組みとの相乗効果により、主力の広告制作事業の売上高は、ここ数年の広告需要動向を上回って増加しております。下半期におきましても、中期経営計画の経営目標の達成に向けた取組みを一層強化してまいります。

6つのキーワード





創業当時からの中核事業であるテレビCM制作に加え、映画やドラマ、プロモーションビデオなど、当社がプロデュースする映像制作事業は多岐にわたります。

世界でも高く評価される当社の作品クオリティを支える撮影スタジオ事業やポストプロダクション事業、さまざまな広告案件をより確実に消費者に伝えるためのプロモーション事業、そして新たなメディアであるWeb、モバイルなどのデジタルコンテンツ事業にも我々のフィールドは広がっています。

また近年では、ゴルフに関わる出版・広告メディア事業や、コンシューマ向けの写真スタジオ事業などにもビジネス領域を拡大しています。

AOI Pro.

(株)AOI Pro.

テレビコマーシャルの企画及び制作
デジタルコンテンツの企画及び制作
エンタテインメントコンテンツの企画及び制作
<http://www.aoi-pro.com/>

主なグループ会社



(株)メディア・ガーデン

撮影スタジオの経営
<http://www.media-garden.co.jp/>



(株)デジタル・ガーデン

デジタル編集及びCGの企画・制作
<http://www.dgi.co.jp/>



(株)ワサビ

テレビコマーシャルの企画・制作
<http://www.wasa-be.co.jp/>



(株)エムズプランニング

イベントや展示会の企画・運営
<http://www.emsp.co.jp/>



(株)スクラッチ

広告全般の戦略・企画・制作
<http://www.sc-com.jp/>



(株)シースリーフィルム

テレビコマーシャル、
ビデオソフトの企画・制作
<http://www.c3film.co.jp/>



(株)ホリーホック

写真スタジオ事業
<http://www.ho-hock.co.jp/>
<http://www.ho-hock.jp/>



(株)Pargolf & Company

ゴルフに関わる出版、広告、オンライン事業等
<http://www.pargolf.co.jp/>



(株)ティー・ケー・オー

広告、SPツール、
Webの企画・制作及び広告写真撮影
<http://www.tkonet.jp/>



(株)ビジネス・アーキテツツ

Webコミュニケーションに関わる
総合ソリューション事業
<http://www.b-architects.com/>



AOI ASIA

アジアにおける広告コンテンツの制作等
<http://www.aoi-pro.com/group/keygroup/aosia/>



Land Ahoy Design Ltd

ロンドンを拠点としたデザイン会社
<http://www.land-ahoy.com/>

TV COMMERCIALS

ACC CM FESTIVAL 2部門にて 総務大臣賞・グランプリを受賞

日本最大の広告祭「ACC CM FESTIVAL」のテレビCM部門とマーケティング・エフェクティブネス部門*において、当社制作作品が総務大臣賞・グランプリを受賞しました。当社制作作品が同広告祭のグランプリを受賞するのは3度目であり、2部門でグランプリを受賞するのは創業以来初の快挙となりました。

また、個人の才能に対して贈られる「クラフト賞」では、執行役員 永井聡が2年連続でテレビCM部門のディレクターとして受賞いたしました。

テレビCM部門
総務大臣賞・グランプリ

マーケティング・エフェクティブネス部門
総務大臣賞・グランプリ

AOI Pro. AOI Pro.

ナイキジャパン ナイキベースボール
「宣誓」

ダイハツ工業 ムーヴ「その進化は事件だ。」
～新型ムーヴ導入キャンペーン
画像：TVCM「パパの愛」

AOI Pro.

住友生命保険 企業
「一度きりの冬」

AOI Pro.

ディー・エヌ・エー/Cygames 神撃のバハムート
「バッハ武藤 よかったね」

AOI Pro.

カゴメ 野菜一日これ一本
「可能性は～ライブ」

AOI Pro.

KDDI au
「リアル4G LTEライフ/井川さん」

AOI Pro.

パナソニック 企業
「ネイマールJr.の日常」

AOI Pro.

バイク王&カンパニー バイク王×ルパン三世
「キャンペーン第2弾」

*マーケティング・エフェクティブネス部門 CMを中心に戦略的かつ効果的な広告活動を展開し、ビジネスに大きな成果を残した企画に贈られる賞

MUSIC VIDEO

AOI Pro. AOI Pro.

AKS/キングレコード
AKB48 32nd シングル
「恋するフォーチュンクッキー」ミュージックビデオ

WEBSITE

AOI Pro.

メイベリン ニューヨーク アイライナー×
マガジンハウスGINZA 誌面連動キャンペーンサイト
「Dress Your Eyes.」

*著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしておりません

FILM



©2013 「くじけないで」製作委員会

映画「くじけないで」
当社出資・制作、松竹配給映画

90歳を過ぎてデビューし、200万部のベストセラー詩集の作者となった詩人・柴田トヨさんの半生を描いた、心に一筋の光を投げかけてくれる感動の物語です。母と子の絆を軸

に、明治から平成までの激動の時代を生きたトヨさんの感動の実話を、豪華出演者で贈ります。11月16日より全国公開。

出演：八千草薫、武田鉄矢、伊藤蘭、檀れい、芦田愛菜、上地雄輔、ピエール瀧、鈴木瑞穂
原作：柴田トヨ「くじけないで」「百歳」（飛鳥新社刊）
主題歌：由紀さおり「わたしのうた」（EMI Records Japan）
監督・脚本：深川栄洋
制作プロダクション：松竹撮影所、AOI Pro.
製作：松竹、ピーエスフジ、AOI Pro.、産経新聞社、スリーグッドラック、トライサム、
ブレインウォッシュ、博報堂、東海テレビ放送
配給：松竹

「くじけないで」公式ページ <http://www.kujikenaide.jp/>

グループ情報

(株)デジタル・ガーデン

デジタル編集及びCGの企画・制作



©Nacasa & Partners

増資と新拠点のオープン

9月10日付で第三者割当増資を行い、(株)IMAGICAが20%を出資、技術・ノウハウの交流、人材育成の強化、制作ネットワーク環境の共同構築等を目的に資本業務提携を行いました。

(株)デジタル・ガーデンは本年創立15周年を迎えており、今後の5年、10年を見据え、

10月には東京都渋谷区広尾に「DIGITAL GARDEN PLAZA」をオープンしました。340坪のスペースに9つの編集室を設置し、音楽編集および制作ができるサウンドデザインスタジオも新設するなど、制作体制を強化し、さらなる発展を目指します。

AOI ASIA BEIJING

CMの企画・制作を中心とした映像制作事業



北京のCM制作会社を子会社化

アジア地域におけるさらなる事業強化のため、以前より海外協力会社として提携していた中国・北京のCM制作会社「北京葵友广告有限公司」を4月に株式取得により子会社化し、「AOI ASIA BEIJING」を通称名としました。2011年に設立したインドネシア(ジャカルタ)、本年2月に設立したタイ(バンコク)に続くCM制作の海外拠点であり、日本と

海外、海外間のより一層の制作連携強化を目指しています。

AOI ASIA BEIJINGでは、従来から取引のある中国中央テレビ(国営テレビ)等に加え、最近では、トヨタ自動車、本田技研工業、中国工商银行など世界的に有名なクライアントのCM等も制作しており、今後も営業・制作活動を推進して事業の拡大を図ります。

■第2四半期 ■通期

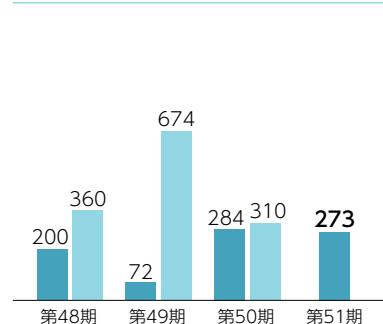
売上高 (単位：百万円)



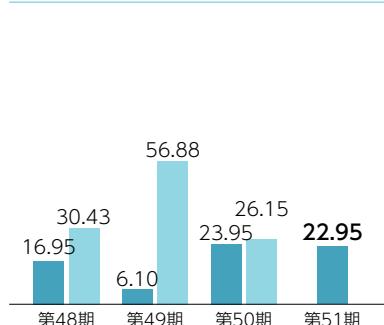
経常利益 (単位：百万円)



当期 (四半期) 純利益 (単位：百万円)



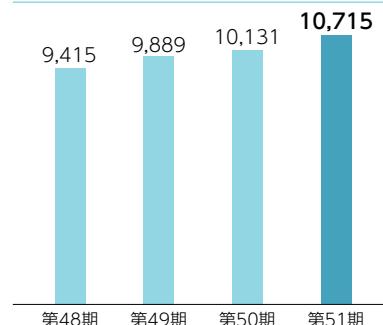
1株当たり当期 (四半期) 純利益 (単位：円)



総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



	第48期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで		第49期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで		第50期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで		第51期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期 (予想)
売上高 (百万円)	7,110	15,989	9,091	21,671	12,714	25,568	13,183	26,500
経常利益 (百万円)	359	951	177	1,454	771	1,383	722	1,850
当期 (四半期) 純利益 (百万円)	200	360	72	674	284	310	273	750
1株当たり当期 (四半期) 純利益 (円)	16.95	30.43	6.10	56.88	23.95	26.15	22.95	62.99
総資産 (百万円)	16,821	17,210	17,830	20,669	20,141	20,867	22,283	
純資産 (百万円)	9,273	9,415	9,235	9,889	10,061	10,131	10,715	

(注) 1株当たり当期 (四半期) 純利益は、期中平均の株式数により算出しております。

会社の概況 (2013年9月30日現在)

商号	株式会社AOI Pro. (英文名 AOI Pro. Inc.)
設立	昭和38年10月25日
資本金	3,323,900千円
従業員	330名 (AOI Pro. グループ783名)
主要な事業内容	テレビコマーシャルの企画及び制作を主に、映像制作及びこれらに付帯する業務
主要な事業所	本社 東京都品川区 支店 米国カリフォルニア州カラバサス オフィス 新橋(東京都中央区) 赤坂(東京都港区) 撮影スタジオ 神奈川県横浜市都筑区 編集スタジオ 東京都渋谷区

取締役及び監査役 (2013年9月30日現在)

会社における地位	氏名	担当
代表取締役社長	藤原 次彦	
専務取締役	八重樫 悟	財務・総務・コーポレート本部管掌
常務取締役	笹貫 善雄	第四・第五・第六プロダクションディビジョン管掌
常務取締役	中江 康人	第一・第二・第三プロダクションディビジョン・戦略事業本部管掌
常務取締役	譲原 理	財務本部長兼コーポレート本部長
取締役	小甲 則夫	総務本部長
取締役	小形 浩隆	プロダクションコントロールディビジョン本部長兼リスクマネジメント室管掌
取締役	潮田 一	第一プロダクションディビジョン本部長
社外取締役	辻野晃一郎	
常勤監査役	斉藤 博	
社外監査役	湯佐 富治	
社外監査役	柴田 芳治	
社外監査役	高田 一毅	

株式の状況 (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式の総数	13,334,640株 (自己株式 1,358,572株を含む)
株主数	3,013名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社コスモチャンネル	1,373	11.4
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,000	8.3
原 仁	400	3.3
松本 洋一	400	3.3
原 文子	328	2.7
AOI Pro. 従業員持株会	303	2.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	235	1.9
株式会社オムニバス・ジャパン	220	1.8
明治安田生命保険相互会社	170	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	169	1.4

(注) 1. 当社は、自己株式1,358,572株を保有しておりますが、上記大株主からは、除外してあります。また、持株比率については、自己株式を控除して算出しております。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) と日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) の持株数は、全て信託業務に係る株式数であります。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

当社の単元未満株式 (100株未満) をご所有の株主様向けに、単元未満株式をご売却いただく「買取請求」、または1単元に不足する株式数をご購入いただく「買増請求」の制度を実施しております。単元未満株式を特別口座で管理されている場合、三菱UFJ信託銀行で受付できます。また、手数料は無料です。(証券会社で管理されている場合、受付と手数料についてはお取引のある証券会社へご確認ください。)

具体例 50株ご所有の場合



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当の支払いを行うときは9月30日といたします。
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL (http://www.aoi-pro.com/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができないときは、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 フリーダイヤル(0120) 232-711
上場証券取引所	東京証券取引所

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。

株式会社 AOI Pro. 本社 〒141-8580 東京都品川区大崎 1-5-1 大崎センタービル TEL.03-3779-8000(代表)

ホームページ [AOI Pro](http://www.aoi-pro.com/) で [検索](#) <http://www.aoi-pro.com/>